

# 平成31年度出水市社会福祉協議会事業計画

## 事業方針

今日の社会福祉を取り巻く環境は、高齢化が急速に進展する中、支援を必要とする高齢者、障がい者、生活困窮者等が増加するとともに、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉課題・生活課題も生じており、福祉に対するニーズは多様化し増大しています。

国では制度・分野ごとの支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた取組が進められています。

一方、国の平成31年度予算案によれば、引き続き全世代型の社会保障制度への転換に向け、消費税増税分を活用した幼児教育・保育の無償化、年金生活者支援給付金の支給、介護人材の処遇改善や低所得高齢者の介護保険料の負担軽減策など、社会保障の充実を図るとしています。

出水市におきましては、これまでの行政改革効果や地方財政対策、また、地域経済の活性化策による市税の回復基調等より、喫緊の政策課題への迅速な対応や重要施策の積極的な推進を可能とする安定した財政状況になってきたといわれています。今後、「第二次出水市総合計画」に沿った市政運営とあわせて、平成31年度が最終年度となる「出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「産業振興・しごと創出戦略」、「結婚・出産・子育て戦略」「定住・交流促進戦略」に基づき、引き続き人口減少対策の取組を進め、魅力ある地方の創生に取り組むこととしています。

このような中、複合的な課題を受けとめる総合相談体制づくりや地域における住民の自主的な活動の推進など、地域福祉を推進する中核的団体として社会福祉協議会への期待は益々高まっています。

したがって、出水市社会福祉協議会の事業方針としては、その目的である地域福祉の充実発展を図るため、市や県社協の施策に連動して事業を展開していく必要があります。市から受託している子育て支援事業であるファミリーサポートセンター事業や学童保育事業の充実を図り、子育て環境の整備に努力してまいります。

また、ボランティア活動事業の充実を図り、誰もが地域で安心して暮らし、ふれあい、たすけあう地域づくりを進めてまいります。

一方、高齢化の進展により、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、出水市社会福祉協議会の自主事業である生活支援サービス事業“暮らしサポートセンター事業”や昨年8月出水市から受託した“生活支援体制整備事業”の充実・強化を図るほか“か

ごしまおもいやりネットワーク事業”への参加等を通じ、高齢者や障がい者等の日常生活を地域で支え合う包括的な支え合いの体制づくりとその受け皿づくりに努めてまいります。

介護保険事業の分野においては、厳しい介護報酬設定や制度改正に適切に対応しつつ、介護保険事業経営のあり方についても引き続き検討を進めてまいります。

また、これまでも自治会組織、民生委員児童委員協議会連合会、社会福祉関係団体、福祉施設など各分野の関係者との連携協力なくしては効果的な活動はできないという認識の中で事業推進を図ってまいりましたが、今後はさらに連携強化を強めながら、職員のさらなる意識改革を図り、地域住民の立場に立った総合的なサービス提供とサービスの質の向上に努めてまいります。

このような状況をふまえ、平成31年度は以下のような基本目標を掲げるとともに、それに沿った事業計画を策定し、地域福祉の担い手として市民に信頼される多様な福祉サービスを積極的に提供し、市民が安心して暮らせる地域社会の構築を目指して各事業の効果的な実施に努めることとします。

## 基 本 目 標

- 1 ボランティア活動事業の推進
- 2 ふれあいのまちづくり事業の推進
- 3 在宅福祉サービス事業等の推進
- 4 受託事業の推進
- 5 その他の社会福祉事業への参加・協力と育成事業の推進
- 6 その他の業務及び協力事務等の推進

## 事 業 実 施 計 画

### 1 ボランティア活動事業の推進

ボランティアセンターの機能を充実するため、ボランティアに関する情報収集及び発信を行いながら、担い手であるボランティアの育成、教育、援助等を行い、市民のボランティア活動への意識を高めてまいります。

- (1) ボランティアの需給調整やボランティア活動保険の加入及び一部助成等を通じ、ボランティア個人・団体への活動支援に努める。
- (2) ボランティア活動推進協力校と連携し、ボランティア・福祉教育の推進を図り、次世代の人材育成に努める。
- (3) 災害ボランティアセンター機能の充実や災害ボランティア活動の支援に努め、近隣

社協と連携を強化し、不測の事態に備える。

- (4) ボランティア講座、「生涯学習・福祉・ボランティアフェスタ」の開催及び充実を図り、福祉ボランティアのまちづくりに努める。
- (5) ボランティア受入れ施設等との連携と協調を図る。

## 2 ふれあいのまちづくり事業の推進

「地域住民の福祉と生きがい・健康づくりは地域住民全体の手で」をモットーに、世代を問わず、お互いの連携の輪を広げて、安心して生活できる地域社会を築いていきます。

- (1) 小地域福祉ネットワーク活動を推進し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、ひとりでは生活困難な心身不自由な方々などを地域住民の協力による見守り・支援活動を通じ疎外感の解消及び孤独死防止に努め、高齢者等が地域で安心して暮らせる、そして支え合う体制づくりを進める。
- (2) 在宅福祉アドバイザー事業と連携して小地域福祉ネットワーク活動を推進する。
- (3) 生きがい対策としての「いきいきサロン」、子育て環境整備のための「子育てサロン」の開設支援と市民参加の促進に努める。
- (4) 心配ごと相談所の充実と一般相談・専門相談の開設により、相談者の問題解決への支援を行う。
- (5) 高齢者元気度アップ・ポイント事業及び高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業により、高齢者のボランティア活動や生きがい、健康づくり活動の推進に努める。

## 3 在宅福祉サービス事業等の推進

◎ 地域住民（利用者）が選択する介護保険サービスを効率的に利用してもらうとともに地域において高齢者と介護者の家族等の各種相談に応じ支援するため、ランチとしての在宅介護支援センターの充実に努め、包括的なサービスの提供を行いながら、高齢者の自立を助長してまいります。また、住み慣れた自宅において介護状態の程度において訪問介護員の家事援助や身体介護等のサービス提供を受け、安全にしてより快適な生活が送れるよう支援してまいります。

◎ 小規模多機能型居宅介護事業所「暖らん」及び認知症対応型共同生活介護事業所「グループホーム野菊」の適正な運営に努めます。

・「暖らん」においては、利用者が住み慣れた地域でその人らしい暮らしが実現できるよう、家庭的な環境の中で地域住民との交流や地域活動への参加を行いながら、適切なサービスを提供する。

・「野菊」においては、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、日常生活の世話や心身の機能訓練等を行い、利用者がその有する能力に応じて、安心と尊厳のある生活を可能な限り自立して営むことができるよう支援する。

◎ 「暮らしサポートセンター事業」の充実強化を図り、住民が主体の相互扶助活動をさらに推進してまいります。また、「かごしまおもいやりネットワーク事業」への参加等を通じ、生活困窮者支援を推進します。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 訪問入浴介護事業
- (4) 障害者の居宅介護等事業
- (5) 小規模多機能型居宅介護事業
- (6) 認知症対応型共同生活介護事業
- (7) 介護予防・日常生活支援総合事業
- (8) 生活支援サービス事業「暮らしサポートセンター事業」
- (9) かごしまおもいやりネットワーク事業

#### 4 受託事業の推進

- (1) 老人福祉センターの運営（出水・高尾野・野田各老人福祉センター）
- (2) たかおの交流館の運営
- (3) 児童クラブの運営（7クラブ（障害児児童クラブを含む。））
- (4) ファミリーサポートセンター事業の運営
- (5) 在宅介護支援センターの運営
- (6) シルバーハウジングセンターの管理・運営
- (7) 福祉サービス利用支援事業
- (8) 生活支援体制整備事業

#### 5 その他の社会福祉事業への参加・協力と育成事業の推進

- (1) 社会福祉関係大会への積極的参加  
（生涯学習・福祉・ボランティアフェスタ，市老人福祉大会・老人スポーツ大会，障害者連絡協議会や母子寡婦福祉会，遺族会等の各総会等，ボランティアズパーティー等）
- (2) 共同募金配分金事業の実施  
各種料理教室，移動式ベンチ設置事業，命のカプセル事業，災害見舞，交通遺児への援助，地域活動助成事業，いきいきサロン・子育てサロン事業，福祉団体及びボランティア活動推進協力校への助成等

#### 6 その他の業務及び協力事務等の推進

- (1) 社会福祉会館の適正な維持管理に努める。
- (2) 広報紙やホームページ等を活用し，福祉，ボランティア情報の発信を行う。

- (3) 共同募金事務，日赤事務等について，引き続き協力する。
- (4) 市老人クラブ連合会，特攻碑顕彰会，護国神社奉賛会，遺族会，障害者連絡協議会等関係福祉団体への協力